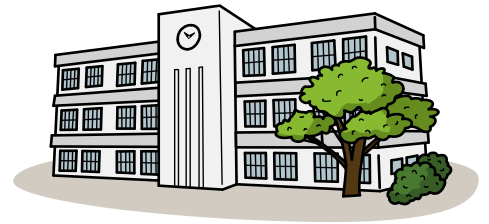




安東中学校区小中一貫教育構想



9年間でめざす子ども像
(安東中 学校教育目標)

心豊かに自ら創りだす生徒

ユニバーサルデザインの視点を活かした持続可能な小中一貫教育

UD
の
視
点

どの児童・生徒も安全で、安心して学習や行事、日々の生活を送ることができる**環境づくり**

どの児童・生徒も「わかる」「できる」喜びを実感する**学びづくり**

互いのよさや成長を認め合い、創る喜びを分かち合える**仲間づくり**

視覚化
(目的)

めざす子どもの姿
生活や学習の基本的習慣が身に付いている子

生活(生徒指導・養護)

めざす子どもの姿
「できる」「わかる」授業で、伝え合い高め合う子

学び(学習・研修)

めざす子どもの姿
互いのよさを大切に、人とつながり共に生きる子

仲間(特活・特別支援教育)

4校共通 11の具体的取組(4校は各校の実態に合わせ重点取組を設定し、独自の工夫により指導する)

焦点化
(具体的取組)

- ①「時と場に応じたあいさつができる子」の育成：重点指導項目3A(あいさつ)
- ②「物を大切にし、自己管理ができる子」の育成：重点指導項目3A(あとかたづけ)
- ③「周囲の状況を判断して行動できる子」の育成：重点指導項目3A(あんぜん)
- ④安心・安全で健康的な生活を送るためのより良い選択ができる子の育成
 - ・交通安全(歩き方)
 - ・家庭での時間の使い方
 - ・ネット、ゲームとの付き合い方

- ⑤深い学びに向かう伝え合いの場の設定
 - ・研修の充実(実践→振り返り)
 - ・学習課題の吟味(授業目標は赤線で囲む)
 - ・どの子も学びに参加できる手立ての工夫
- ⑥9年間を見通した話す・聞くスキルの定着
 - ・スキル表の活用
- ⑦家庭学習に進んで取り組むための学び方や計画性の育成
 - ・家庭学習の手引きの活用

- ⑧生徒会・児童会によるあいさつ運動
- ⑨自己肯定感・貢献意欲を上げる取組の工夫
 - ・自他のよさを認め仲間を広げる活動(いいとこ見つけ)
 - ・思考ツールによる目標→行動→振り返り(成長の実感)
- ⑩小中の交流
 - ・ものやDVDによる交流、中学校訪問、ICTによる交流
- ⑪効果的な支援方法の共通実践
 - ・連続性を大切にされた個別の支援計画の有効活用
 - ・長期的・短期的な目標の共有、支援の継続等
 - ・年間2回SSTに取り組む
 - ・道徳「コラム」「ふろく」に取り組む

※・は例を示す。各校が重点取組を設定し、独自の工夫・手立てにより指導する。4校は互いの手立てを共有し参考にできる。

共有化
(SDGs)



16 平和・公正・健康的な環境をすべての人に



4 質の高い教育をみんなに



17 パートナリシップで目標を達成しよう

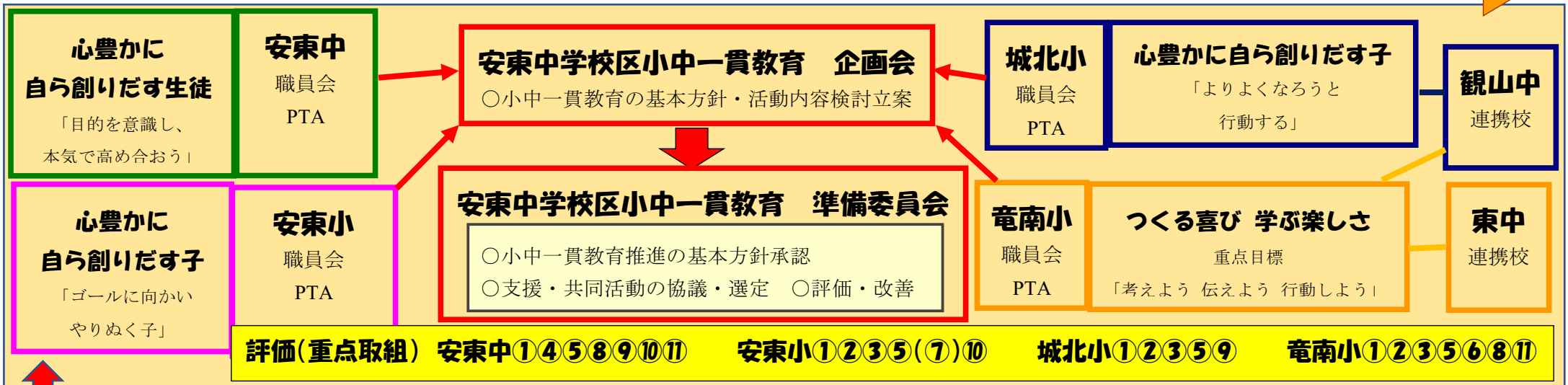
11 住み続けられるまちづくりを
・地域貢献、交流
・地域人材の活用



地域と学校、学校と学校をつなぐSDGsの取り組み
・SDGsを意識した安東中生徒会の活動
・地域に誇りと愛着をもつ「しずおか学」(歴史・文化)



よこのつながり(学校と地域の連携)



学校と地域をつなぐ組織体制

・校長会、企画会(小中一貫コーディネーター) ・主幹・教務主任会 ・事務部会
・連携全体会 ・プロジェクトチーム(環境づくり部・学びづくり部・仲間づくり部)

学校を支える地域組織

幼稚園保育園こども園

学校評議員会

連合自治会

青少年健全育成会

社会福祉協議会

児童館

学校応援団

学校ボランティア

民生委員児童委員

地域防災組織

